# 2022 年度

# 環境経営レポート

（2022 年 10 月 1 日 ～ 2023 年 9 月 30 日）

MAN MACHINE INTERFACE

株式会社 マン・マシンインターフェース

発行：2023 年 11 月 28 日

# 目次

1 組織の概要 ..... 1
2 対象範囲 ..... 3
3 環境経営方針 ..... 5
4 環境経営目標 ..... 6
5 環境経営計画の実施体制 ..... 8
6 環境経営目標の実績 ..... 9
7 取組結果と評価・今後の取組 ..... 14
8 環境関連法規等の遵守状況 ..... 26
9 代表者による全体評価と見直しの結果 ..... 27

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

# 1 組織の概要

## 1.1 事業所名および代表者名

株式会社 マン・マシンインターフェース
代表取締役 関口 哲也

## 1.2 所在地

東京都八王子市横山町 6-9 丸多屋ビル 3F

## 1.3 略歴

設立 ：1985 年 12 月 7 日

## 1.4 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者／担当者 ： 山中 浩
TEL 042-631-3531
FAX 042-631-3532
E-mail ecology@mmi-sc.co.jp

## 1.5 事業内容

ソフトウェア受託開発、運用基盤設計及び維持保守、OEM 商材販売・サポート

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

## 1.6 事業の規模

資本金：1,000 万円

| 活動規模 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 |
|---|---|---|---|
| 売上高 （百万円） | 461 | 471 | 484 |
| 従業員 （人） | 60 | 62 | 64 |
| 床面積 （㎡） | 149 | 149 | 149 |
| ﾊﾟｿｺﾝ（台） | 32 | 32 | 35 |

※事業年度は、当年 10 月～翌年 9 月末まで

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

# 2 対象範囲

## 1.7 対象組織及び活動

対象組織名 ： 株式会社マン・マシンインターフェース
（東京都八王子市横山町 6-9 丸多屋ビル 3F）

対象事業活動： 全ての事業活動

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

## 1.8 対象組織図

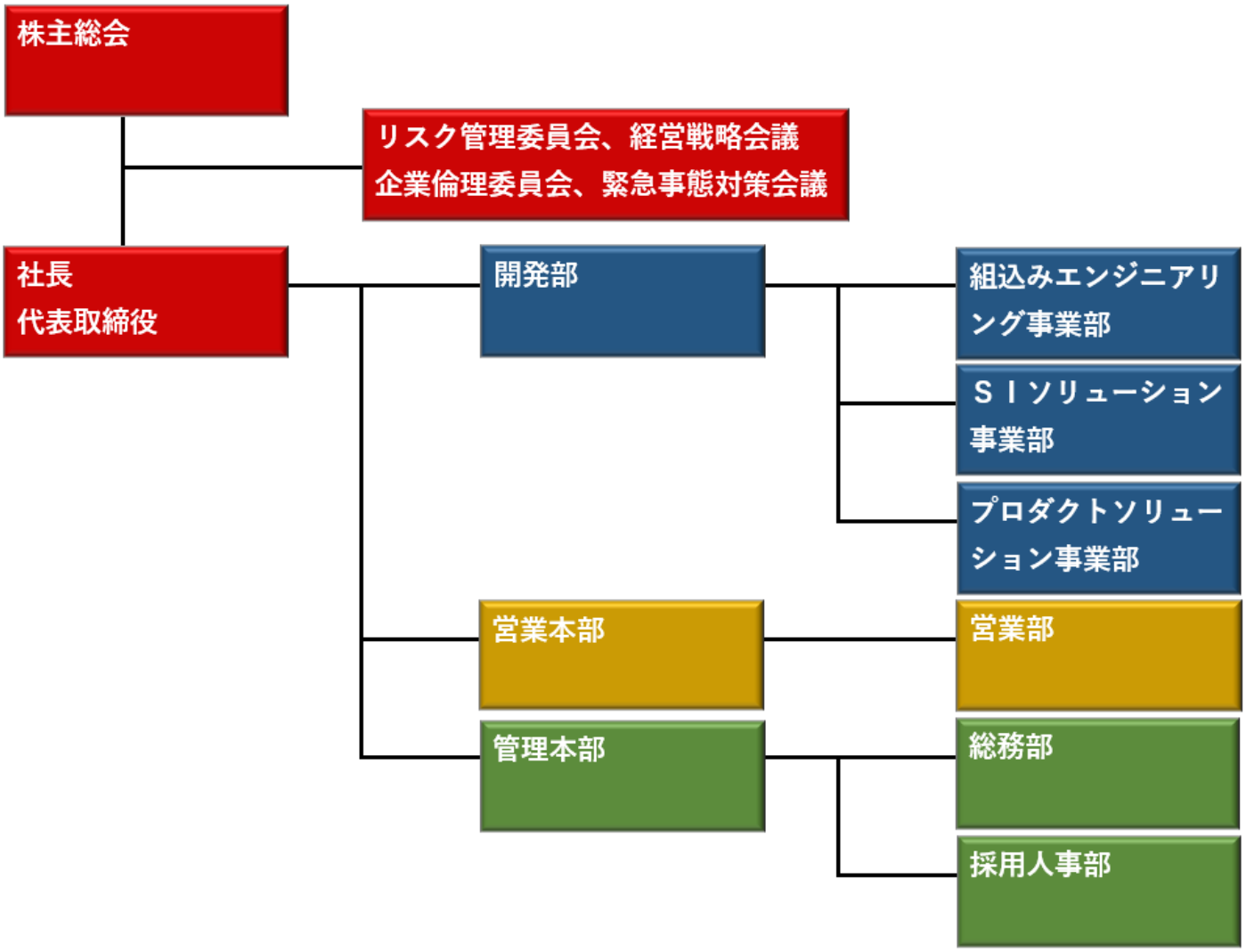



**図 2-1 対象組織図**

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

# 3 環境経営方針

## ◆ 環境理念 ◆

株式会社マン・マシンインターフェースは、地球環境保全を重要な経営課題と捉え、事業活動における地球環境への負荷を軽減させ、その取り組みを通じて社会的責任を果たします。同時に、持続可能な社会の構築が世界共通の課題であることを踏まえ、環境のみならず社会との共生と調和が企業永続のために欠かせない要素であることを認識し、以下の方針を定めて活動に取り組みます。

## ◆ 行動指針 ◆

1. 環境経営システムを導入し、自主的・具体的な目標と行動計画を定めて、日常の業務を推進します。また、定期ならびに事業活動の変化に応じて継続的にシステムを改善していきます。
2. 事業活動に適用される環境に関わる法規等を遵守します。あわせて、事業活動を通じた関係者への啓蒙にも努めます。
3. 効率化・合理化により事業活動の生産性を向上させ、省資源・省エネルギー・資源循環、および廃棄物減量などに努めます。
4. 環境にやさしいグリーン調達と、公正な取引によるフェアトレード製品の調達を推進します。
5. 世界レベルの大きな目標も草の根レベルで貢献できることを啓蒙するなど、環境保全教育を通じて社員一人ひとりの意識向上を図り、社員の環境保全活動への参加を積極的に支援します。

制定日：２０１０年１０月　６日
改訂日：２０２２年１０月　１日
株式会社マン・マシンインターフェース
代表取締役　関口　哲也

Copyright© 2022　MAN MACHINE INTERFACE, INC.　All rights reserved.

# 4 環境経営目標

目標は以下の通りです。(2021/10/4 作成)

| 項目／目標 | | | 基準<br>(2020年度) | 2021<br>年度<br>(2021/10<br>～2022/09) | 2022<br>年度<br>(2022/10<br>～2023/09) | 2023<br>年度<br>(2023/10<br>～2024/09) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内勤者数(年度平均値)(注1) | | [人] | 11.58 | 12.00 | 12.00 | 12.00 |
| $CO_2$ 排出量削減 | | | | | | |
| 電力使用量 | (本社合計) | [kWh] | 11,757 | 11,818 | 11,818 | 11,818 |
| | (一人あたり) | [kWh/人] | 1,015 | 985 | 985 | 985 |
| | | (対基準比：%) | | (３% ↘) | (３% ↘) | (３% ↘) |
| $CO_2$ 排出量<br>(注2)<br><係数：0.447> | (本社合計) | [kg-$CO_2$] | 5,255 | 5,283 | 5,283 | 5,283 |
| | (一人あたり) | [kg-$CO_2$/人] | 454 | 440 | 440 | 440 |
| <係数：0.447> | | (対基準比：%) | | (３% ↘) | (３% ↘) | (３% ↘) |
| 廃棄物削減／リサイクル推進 | | | | | | |
| 廃棄物排出量<br>(注3) | (本社合計) | [g] | 222,300 | 223,452 | 223,452 | 223,452 |
| | (一人あたり) | [g/人] | 19,197 | 18,621 | 18,621 | 18,621 |
| | | (対基準比：%) | | (３% ↘) | (３% ↘) | (３% ↘) |
| コピー用紙<br>使用量 | (本社合計) | [枚] | 8,212 | 8,084 | 8,084 | 8,084 |
| | (一人あたり) | [枚/人] | 709 | 674 | 674 | 674 |
| | | (対基準比：%) | | (５% ↘) | (５% ↘) | (５% ↘) |
| 水使用量削減 | | | | | | |
| 節水<br>(注4) | | | 手洗い、洗い物時の節水励行 | | | |
| 環境活動 | | | | | | |
| 社会貢献 | | | ・エコキャップ<br>・八王子環境市民会議参加 | | | |
| eco 検定 | | [人]<br>毎年 1 名増加 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 業務改善 | | | | | | |
| 生産性向上 | | | 改善策の策定 | 状況に応じた複雑な人の判断を伴わない、一定の決まった処理を自動化することで生産性向上の手助けとなるOCR・RPA販売促進を行う | | 問題をピックアップ・解決し、更なる販売促進を行う |

※ 2021年度以降の目標は、その後の実績、ならびに業容／人員の変化に応じて見直しを行う。
(注1) 2021年度以降のの目標値（電力使用量・$CO_2$排出量・廃棄物排出量・コピー用紙)の本社合計は、一人当たりの目標値に2020年度の内勤者数（年度平均値）の12人で計算して求めています。
(注2)『電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）－令和2年度実績－ R4.7.14環境省・経済産業省公表』に記載されている 東京電力エナジーパートナー(株) の調整後排出係数を[kg-CO2/kWh]換算した値
(注3) 3年間の計画が終了し、コロナ禍での業容/体制に伴って、新たに2020年度を基準とし目標を設定。
(注4) オフィスビルテナントであり自社水道使用量が不明なため、数値目標は設定せず削減への取組を行う。

1ページ

**図 4-1 環境経営目標環境経営計画(2021 年度～2023 年度)**

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

これまでに取り組んでいたことと、取り組みの自己チェックで判明した弱点を中心に、以下のような活動を計画しています。毎日チェックして月末に結果を集計しています。

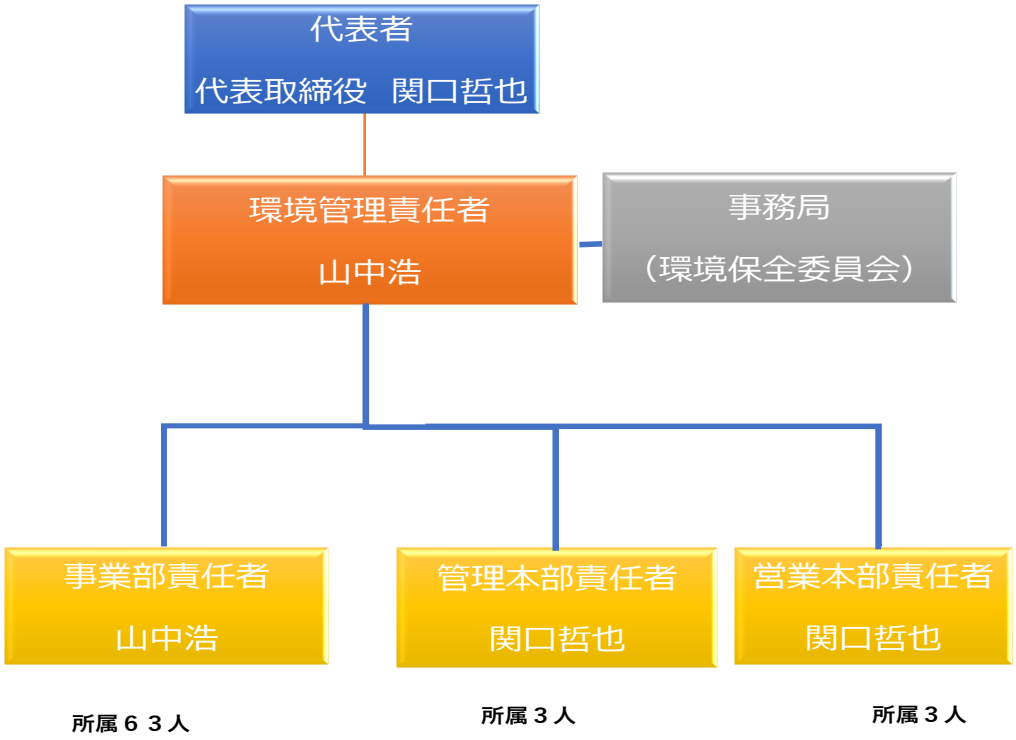
| 項目 | 達成手段 | |
|---|---|---|
| $CO^2$排出量削減 | 不要電力消費削減 | PC（電源＆電源タップオフ） |
| | | エアコン（停止） |
| | | 照明（消灯） |
| | | 給湯設備（停止） |
| | 省電力対策 | PC（省電力設定） |
| | | 複合機（省電力設定） |
| | | 電気ケトル（必要量＆魔法瓶） |
| | | 照明（間引き・LED導入） |
| | | 冷蔵庫（省電力設定） |
| | エアコン適正利用 | 室温（冷房28℃・暖房20℃） |
| | | 温度<br>・冷房：室温が26℃になるように調整<br>・暖房：室温が22℃になるように調整 |
| | | 外気の取り入れ／陽光の遮断 |
| | | サーキュレーター利用 |
| | 適正な服装 | クールビズ・ウォームビズ |
| | 社内規定順守 | 完全残業なし日（第1水曜日） |
| | | 完全休出なし日（第2土曜日） |
| 廃棄物削減／リサイクル推進 | 分別収集 | |
| | トナーカートリッジ回収 | |
| | 空き容器の洗浄と圧縮廃棄 | |
| | 割り付け、両面 印刷 | |
| | 印刷前プレビューと設定確認 | |
| 水使用量削減 | 節水 | |
| 環境活動 | 社会貢献 | |
| | eco 検定 | |

**図 4-2 環境経営計画**

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

# 5 環境経営計画の実施体制

環境経営計画に基づく実施体制は以下です。




| 役割 | 責任および権限 |
|---|---|
| 代表者 | １．環境経営方針の制定<br>２．環境管理責任者の任命<br>３．実施体制の構築<br>４．EMSに必要な資源の準備<br>５．全体の取り組みに対する評価と見直し並びに指示<br>６．承認（環境経営目標･環境経営活動計画／環境経営レポート）<br>７．課題とチャンスの明確化 |
| 環境管理責任者 | １．EMSの構築、運用（実施、維持、継続的改善）<br>２．環境活動状況の代表者への報告<br>３．確認（環境経営目標･環境経営活動計画／環境経営レポート） |
| EMS事務局 | １．環境活動全般を推進、環境管理責任者を補佐<br>２．環境経営目標･環境経営活動計画の作成<br>３．環境関連の外部コミュニケーション窓口<br>４．環境経営レポート作成 |
| 部門責任者 | １．自部門の環境活動推進責任 |
| 従業者 | １．環境活動の実施、法順守<br>２．環境活動に関する積極的な提案 |

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

# 6 環境経営目標の実績

本年度は社内業務の稼働が下がる見込みであったため、昨年度に引き続き環境経営目標数値の基準データを 2020 年度実績のまま取り組んできましたが、コロナ対策によるリモート作業が現在も定着し社内業務の稼働が下がることはなく、また、感染症対策の継続、並びに 7 月後半から 9 月にかけて非常に暑くなり、日本の平均気温の平年差+1.76 度と最も高く、エアコンの稼働率が前年に比べ高い状態となったため、CO2 排出量の項目において目標未達成という結果になりました。
今後も地球温暖化の影響による異常気象や社内業務で使用する機器の稼働を下げることは出来ないため、2022 年度を基準データとする 2023 年度～2025 年度用に新たな目標の設定を行いました(図 6- 9 )。今後も半期ごとに目標に対する実績を評価し、目標値の見直しを図っていく方針です。

本年度の目標と実績は以下の通りです。（※カッコは単位を示しています。）

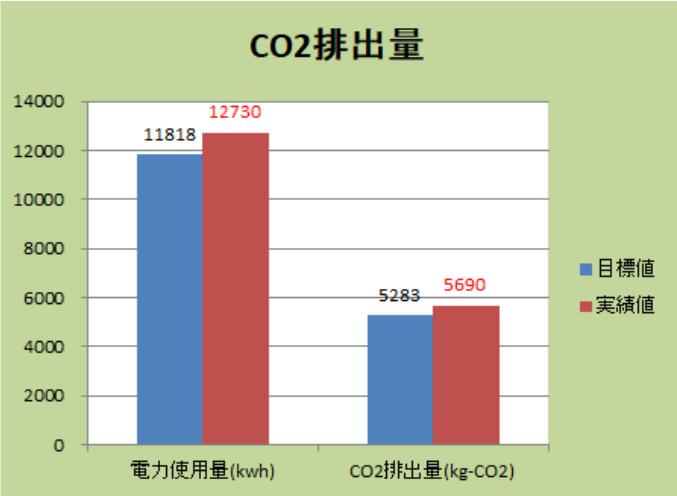



**図 6-1 年間 CO2 排出量(八王子本社全体)**

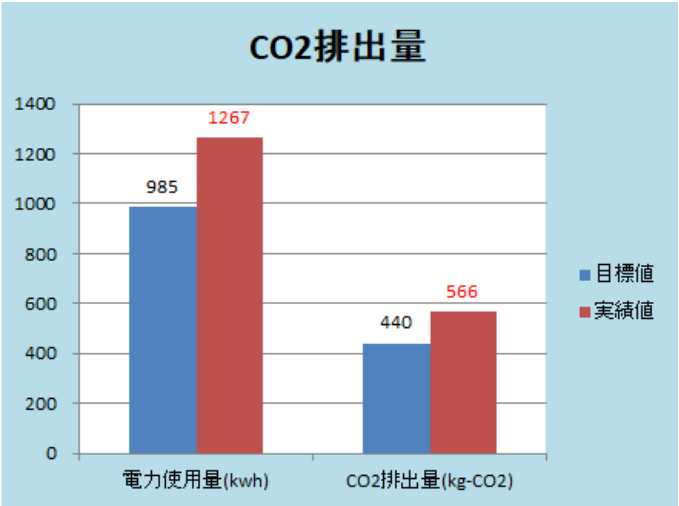



**図 6-2 年間 CO2 排出量(一人あたり)**

## CO2 排出量について

月平均人数あたり、一人あたり、どちらにおいても目標を達成することができませんでした。
しかしながら、2021 年度に比べ一年を通した電力使用量、および CO2 排出量は-8%と目標達成手段の取組に問題は見受けられませんでした。
無駄な電力使用は行わないよう、社内全体で常に意識して取り組んでいきます。

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

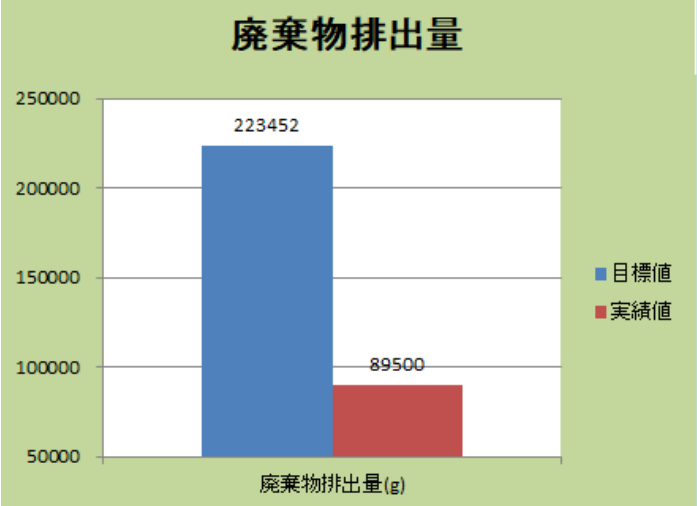



図 6-3 年間廃棄物排出量(八王子本社全体)

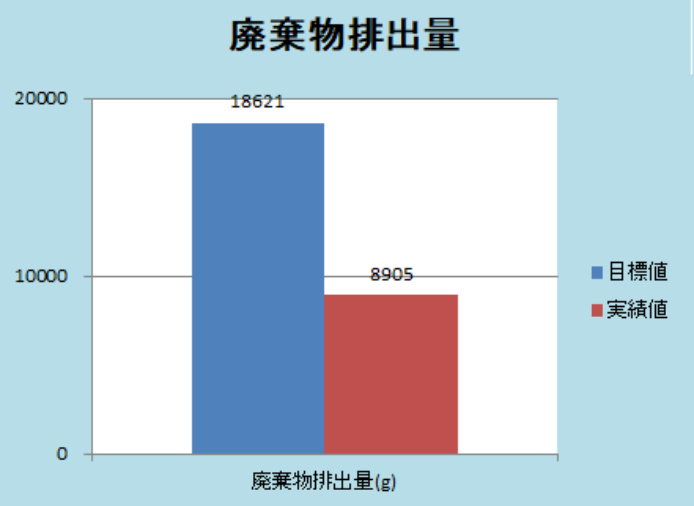



図 6-4 年間廃棄物排出量(一人あたり)

## 廃棄物排出量について

月平均人数あたり、一人あたり、どちらにおいても目標の数値を大きく下回った結果で達成することができました。廃棄物削減に対する意識が定着したものと考えられます。

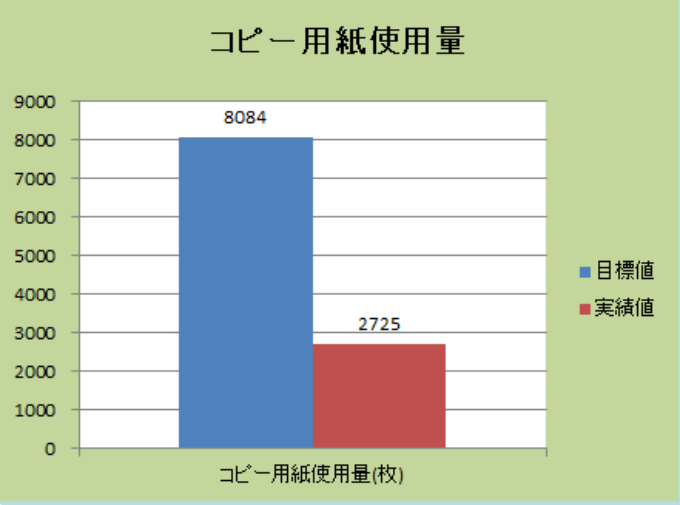



図 6-5 年間コピー用紙使用量(八王子本社全体)

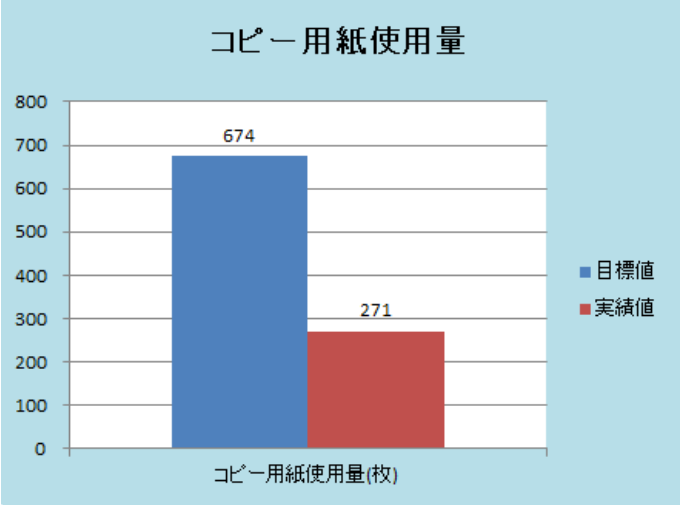



図 6-6 年間コピー用紙使用量(一人あたり)

## コピー用紙使用量について

月平均人数あたり、一人あたり、どちらにおいても目標の数値を大きく下回った結果で達成することができました。社内外問わず資料の電子化が進み、またむやみに印刷しないという意識が社内全体の常識になり、削減につながっていると考えられます。

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

詳細な数値は以下の通りです。※月平均人数当たり

| 項目／目標 | | | 基準<br>(2020年度実績) | 目標 | 実績 | 判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| $CO_2$ 排出量削減 | | | | | | |
| | 電力使用量 | (本社合計) [kWh]<br>(対基準比：%) | 11,757 | 11,818<br>( 3 % ↘) | 12,730<br>( 8 % ↗) | × |
| | | (一人あたり) [kWh/人]<br>(対基準比：%) | 1,015 | 985<br>( 3 % ↘) | 1,267<br>( 29 % ↗) | |
| | $CO_2$ 排出量<br><係数：0.447> | (本社合計) ( kg-$CO^2$ )<br>(対基準比：%) | 5,255 | 5,283<br>( 3 % ↘) | 5,690<br>( 8 % ↗) | × |
| | | (一人あたり) (g-$CO^2$/人]<br>(対基準比：%) | 454 | 440<br>( 3 % ↘) | 566<br>( 29 % ↗) | |
| 廃棄物削減／リサイクル推進 | | | | | | |
| | 廃棄物排出量 | (本社合計) ( g )<br>(対基準比：%) | 222,300 | 223,452<br>( 3 % ↘) | 89,500<br>( 60 % ↘) | ○ |
| | | (一人あたり) [g/人]<br>(対基準比：%) | 19,197 | 18,621<br>( 3 % ↘) | 8,905<br>( 52 % ↘) | |
| | ｺﾋﾟｰ用紙使用量 | (本社合計) ( 枚 )<br>(対基準比：%) | 8,212 | 8,084<br>( 5 % ↘) | 2,725<br>( 66 % ↘) | ○ |
| | | (一人あたり) [枚/人]<br>(対基準比：%) | 709 | 674<br>( 5 % ↘) | 271<br>( 60 % ↘) | |
| 水使用量削減 | | | | | | |
| | 節水 | | – | 手洗い、洗い物時の節水励行 | 蛇口の節水掲示 | ○ |
| 環境活動 | | | | | | |
| | 社会貢献 | | – | エコキャップ<br>環境市民会議参加 | NPO法人に寄付<br>定例・イベント参加 | ○ |
| | eco 検定 ( 人数 )<br>毎年 1 名増加 | | 4 | 5<br>( 1 人 ↗) | 5<br>( 1 人 ↗) | ○ |
| 業務改善 | | | | | | |
| | 生産性向上 | | – | 状況に応じた複雑な人の判断を伴わない、一定の決まった処理を自動化することで生産性向上の手助けとなるOCR・RPA販売促進を行う | 情報サイト＜イプロス＞に自社が取り扱うOCR・RPAを掲載し、多くのユーザの目に留まるよう製品アピール実施 | ×<br>※OEM契約終了となったため |

実績でのCO2排出量係数は目標設定時点での値であり令和2年度実績（R4.7.14環境省・経済産業省公表）の東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数0.447kg-CO2/kwhを引用しています。

**図 6-7 環境経営目標実績(2022 年度)**

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

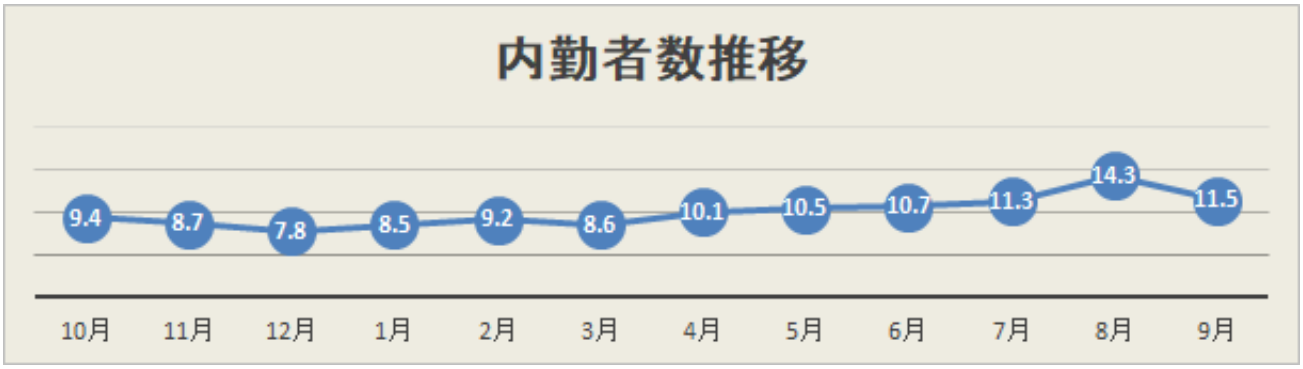



**図 6-8 内勤者推移(月別) (2022 年度)**

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

| 項目／目標 | | | 基準<br>(2022年度) | 2023<br>年度<br>（2023/10<br>～2024/09） | 2024<br>年度<br>（2024/10<br>～2025/09） | 2025<br>年度<br>（2025/10<br>～2026/09） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内勤者数(年度平均値)(注1) | | [人] | 10.05 | 12.00 | 12.00 | 12.00 |
| $CO_2$ 排出量削減 | | | | | | |
| 電力使用量 | (本社合計) | [kWh] | 12,730 | 14,744 | 14,744 | 14,744 |
| | (一人あたり) | [kWh/人]<br>(対基準比：%) | 1,267 | 1,229<br>( 3 % ↘) | 1,229<br>( 3 % ↘) | 1,229<br>( 3 % ↘) |
| $CO_2$ 排出量<br>(注2)(注3)<br><係数：0.457> | (本社合計) | [kg-$CO_2$] | 5,818 | 6,738 | 6,738 | 6,738 |
| <係数：0.457> | (一人あたり) | [kg-$CO_2$/人]<br>(対基準比：%) | 579 | 562<br>( 3 % ↘) | 562<br>( 3 % ↘) | 562<br>( 3 % ↘) |
| 廃棄物削減／リサイクル推進 | | | | | | |
| 廃棄物排出量 | (本社合計) | [g] | 89,500 | 103,660 | 103,660 | 103,660 |
| | (一人あたり) | [g/人]<br>(対基準比：%) | 8,905 | 8,638<br>( 3 % ↘) | 8,638<br>( 3 % ↘) | 8,638<br>( 3 % ↘) |
| コピー用紙<br>使用量 | (本社合計) | [枚] | 2,725 | 3,091 | 3,091 | 3,091 |
| | (一人あたり) | [枚/人]<br>(対基準比：%) | 271 | 258<br>( 5 % ↘) | 258<br>( 5 % ↘) | 258<br>( 5 % ↘) |
| 水使用量削減 | | | | | | |
| 節水<br>(注4) | | | 手洗い、洗い物時の節水励行 | | | |
| 環境活動 | | | | | | |
| 社会貢献 | | | ・エコキャップ運動｜キャップの貯金箱推進ネットワーク<br>・八王子環境市民会議参加 | | | |
| eco 検定 | | [人]<br>毎年 1 名増加 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 業務改善 | | | | | | |
| 生産性向上 | | | 交通費・経費精算におけるITツール導入により効率化 | 社内業務で効率化を図れる作業を洗い出し、ツールなどを自社制作、若しくは外販により改善できるものを調査・検討 | | 調査・検討結果から実施すべき内容を絞り込み対応 |

※ 2023年度以降の目標は、その後の実績、ならびに業容／人員の変化に応じて見直しを行う。
(注1) 2023年度以降のの目標値（電力使用量・$CO_2$排出量・廃棄物排出量・コピー用紙)の本社合計は、一人当たりの目標値に2022年度の内勤者数（年度平均値）の10.05人で計算して求めています。
(注2)『電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）－令和3年度実績－ R5.1.24環境省・経済産業省公表』に記載されている 東京電力エナジーパートナー(株) の調整後排出係数を[kg-CO2/kWh]換算した値
(注3) 地球温暖化の影響による異常気象、および感染症対策環境下での業容/体制に伴って、新たに2022年度を基準とし目標を設定。
(注4) オフィスビルテナントであり自社水道使用量が不明なため、数値目標は設定せず削減への取組を行う。

**図 6-9 環境経営目標(2023 年度～2025 年度)**

1ページ

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

# 7 取組結果と評価・今後の取組

## 1.9 $CO_2$ 排出量削減

目標の －３％ に対して、**+8%** となりました。

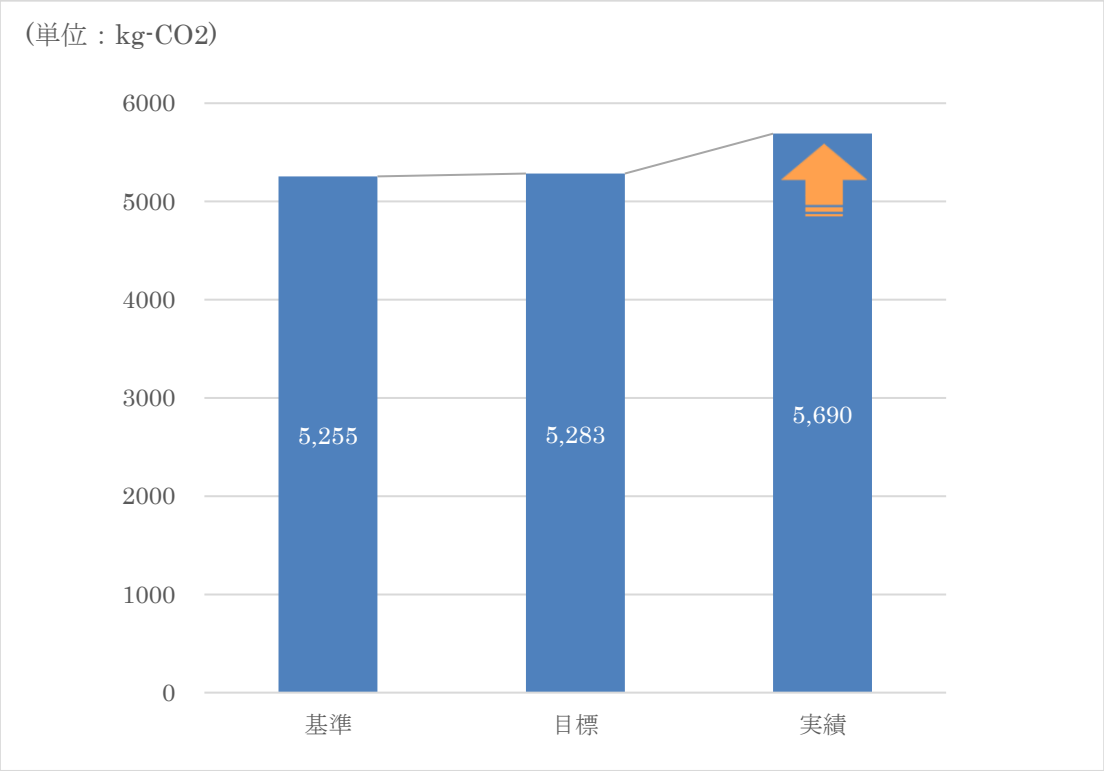



**図 7-1 CO2 排出量グラフ(2022 年度)**

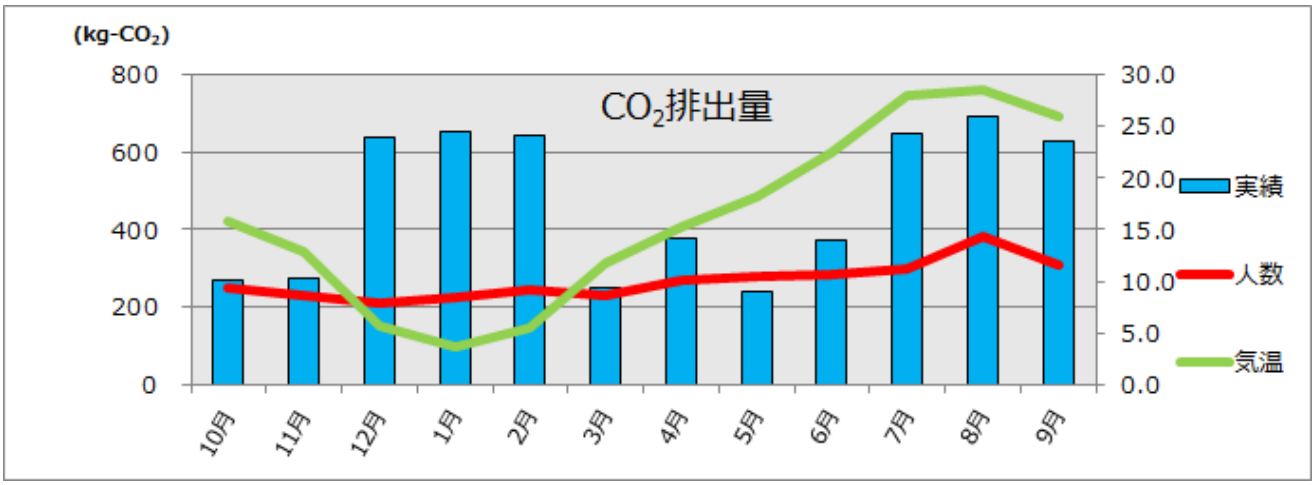



**図 7-2 $CO_2$ 排出量・人数・気温推移(月別)(2022 年度)**

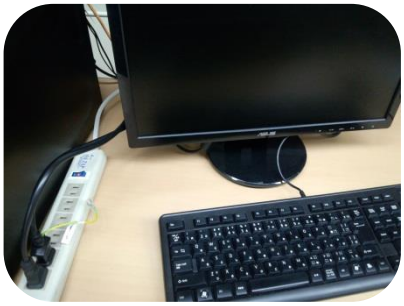
Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

## ＜コメント＞

目標としていた CO2 排出量の 8%増加という結果となり、目標を達成することができませんでした。本年度は社内業務の稼働が下がる見込みであったが、昨年に引き続き消費電力が大きい検査機器を利用した社内業務が継続し、また、7 月には八王子で最高気温 39.1 度と全国で最高となる気温を記録するなど、真夏日、猛暑日が続きエアコンの稼働が高くなったことが原因であると考えられます。

## ＜主な取組＞

### 不在時の PC 及び業務設備電源オフ



個々の PC に電源テーブルタップを設置し、取引先常駐者の PC はもちろんのこと、長時間（1 時間を超える）離席・外出などで PC を使用しない場合には、PC の電源オフに加えてテーブルタップの電源をオフすることで、待機消費電力を含めた不要な電力消費をカットしています。

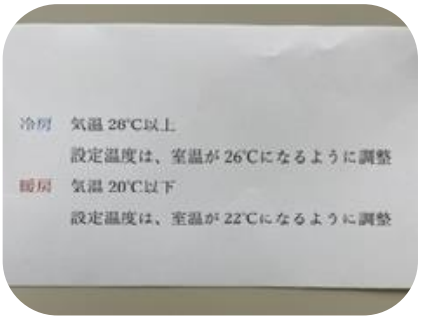
また、業務用の設備についても PC 同様に長時間の離席・外出並びに、待機消費電力を含めた不要な電力消費をカットします。

### 照明の消灯

無人エリアの照明は消灯しています。

また、ビル管理会社より LED が導入されたため、間引き点灯を止めましたが、電気消費量は減少していることから今後も間引きはせずに継続していきます。

### エアコン適性利用／適正な服装




エアコン利用を判断する室温と利用時の設定温度を規定し適正利用を促しています。

- 利用室温　冷房：28℃以上・暖房：20℃以下
- 設定温度　冷房：室温が 26℃になるように調整
　　暖房：室温が 22℃になるように調整

## ＜問題＞

コロナ対策による社内業務が定着し、業務状況により高稼働で検査機器を使用することは避けられず、また、地球温暖化は観測史上最も急速に進行しており、気候変動によりエアコンの使用状況も変わるため、更なる不要電力のカットを徹底する必要があると考えます。

Copyright© 2022　MAN MACHINE INTERFACE, INC.　All rights reserved.

## ＜今後の取組＞

**目標の適正化と更なる節電意識の底上げ**

目標値は業務状況や気候変動によるエアコン使用状況により適正化していく必要がありますので、半期ごとに業務の繁忙状況、設備の稼働状況を踏まえて、目標を見直していきます。
これまで同様に社内ポータルサイトへの掲示、および常に節電の呼びかけを継続し、更なる節電意識の底上げに取り組み、内勤者の変動に左右されない体制づくりを推進していきます。

Copyright© 2022　MAN MACHINE INTERFACE, INC.　All rights reserved.

## 1.10 廃棄物削減／リサイクル推進

### 廃棄物排出量

目標の －３％ に対して、**－60%**となりました。

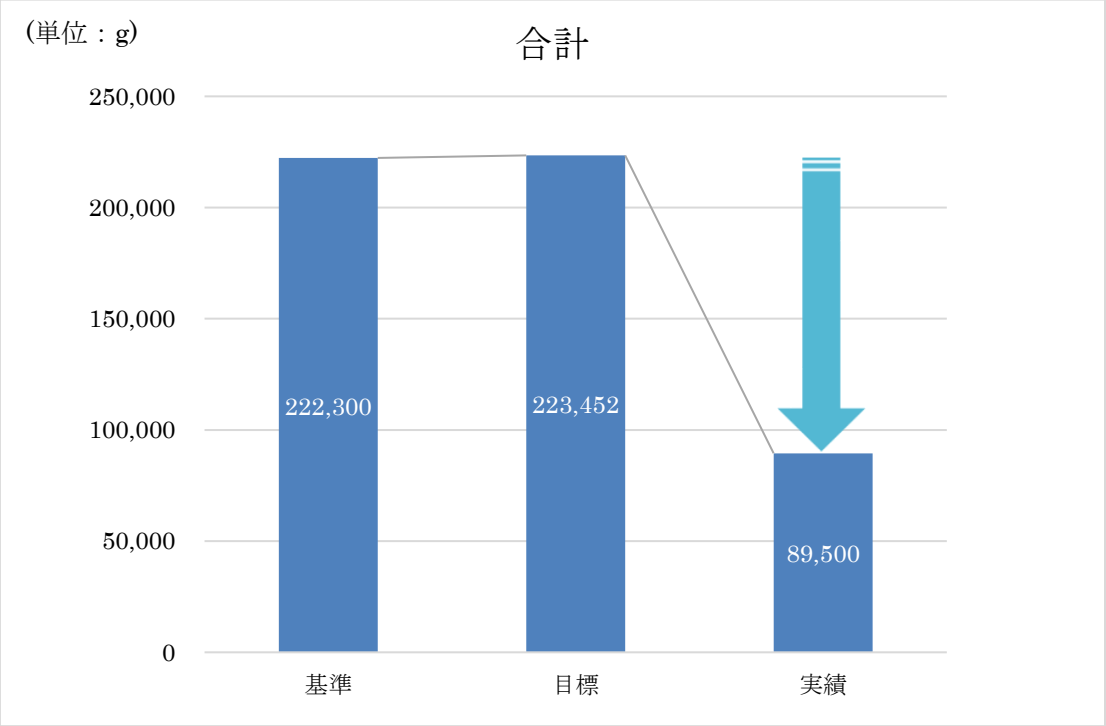



**図 7-3 本年度の廃棄物排出量グラフ**

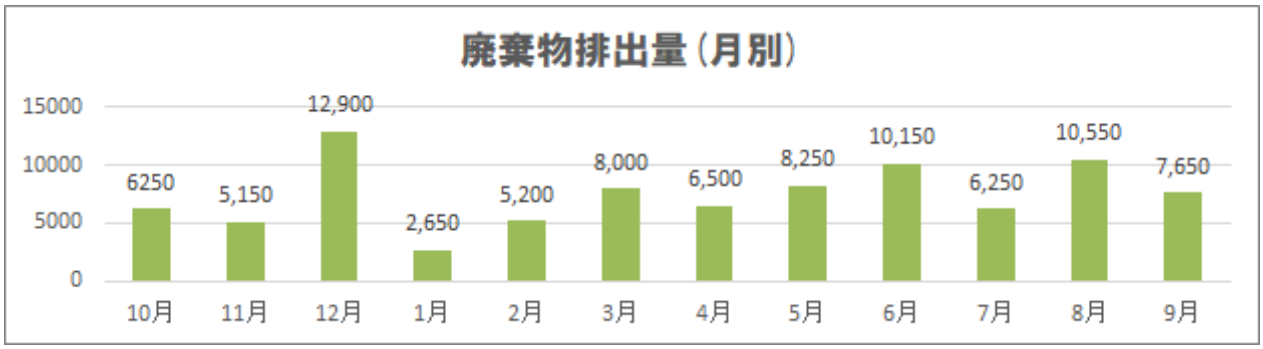



**図 7-4 本年度の廃棄物排出量推移(月別)**

### ＜コメント＞

全体で 60%の減少となり、目標を達成することができました。

12 月は大掃除のため例年排出量が多くなっています。今後も廃棄物削減を全社に呼び掛けて社内意識の向上に努めます。

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

**コピー用紙使用量** ＊本データは、プリンタの印刷枚数から使用量を算出しています。

目標の -5% に対して、**－66%**となりました。

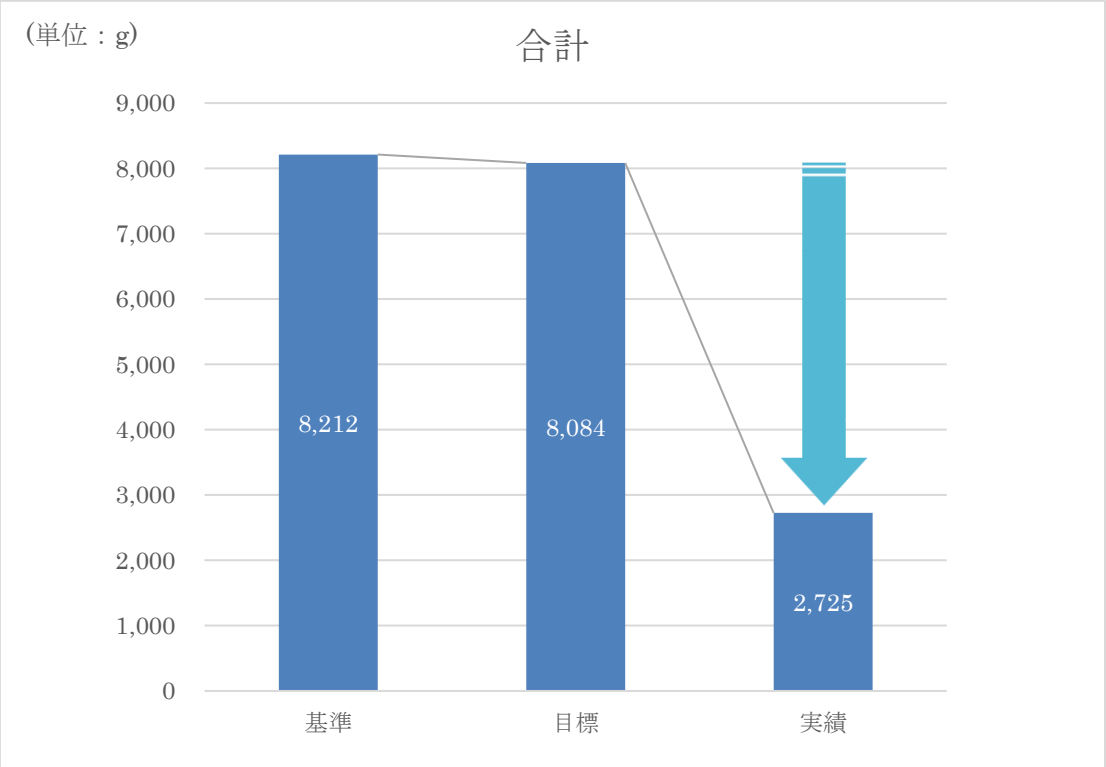



**図 7-5 本年度コピー用紙使用量グラフ**

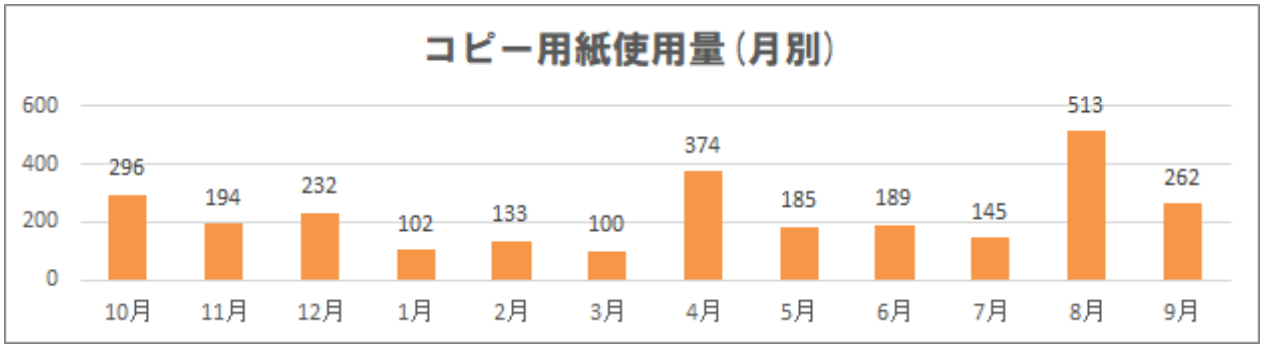



**図 7-6 本年度コピー用紙使用量推移(月別)**

## ＜コメント＞

全体で 66%の削減となり、目標を達成することができました。

4月、並びに8月の使用量が多くなっていますが、これは次年度に向けた採用活動の準備によるものです。社内外問わず資料の電子化が定着し、また、資料をむやみに印刷しないという意識が社内全体の常識になっており、引き続き全社でコピー用紙の使用削減に努めます。

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

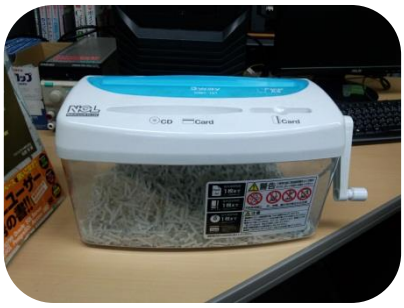
## ＜主な取組＞

### 分別収集

ゴミの分別廃棄を徹底しています。
ペットボトルは（ラベルをはがして洗浄したうえで）つぶして廃棄することで、分量だけではなく、かさの削減にも努めています。

### コピー用紙使用量／排出量削減

割り付け（2in1、4in1 など）にくわえて両面での印刷を推奨することで、使用量の削減を推進しています。
片面のみ印刷された使用済みの用紙は、機密情報が含まれない限り裏紙として再利用し、排出量の削減にも努めています。



また、機密情報を含む用紙をシュレッダーにかける場合には、なるべく手動式のシュレッダーを利用することで、電力消費量/$CO_2$ 排出量削減にも貢献しています。

Copyright© 2022　MAN MACHINE INTERFACE, INC.　All rights reserved.

## ＜今後の取組＞

### リサイクル意識向上の推進

#### ごみの分別

廃棄物排出量は目標値を達成しており、問題はありませんでした。
引き続き、社内における資源ごみと可燃ごみの分別や、各デスクのごみ箱での分別の徹底を促し、社内の意識向上を推進していきます。

### ペーパーレス化の推進

#### コピー用紙使用量

継続的な活動により、ペーパーレス化の意識が社内の常識となり問題はありませんでした。
引き続き、会議資料並びに社内提出物の電子化を図り、さらなるペーパーレス化を推進していきます。

Copyright© 2022　MAN MACHINE INTERFACE, INC.　All rights reserved.

## 1.11 水使用量削減

オフィスビルテナントのため水使用量を正確に把握することができず、取り組みもトイレ洗面・流し台の蛇口付近への節水掲示までとなり、数値で評価することができませんが、個々の節水への意識は浸透してきています。

### ＜主な取組＞

**節水掲示**

水を使用する場所は限られますが、目に留まる位置に節水の掲示を行っています。
設置場所はビル内共用スペースであり、当社以外の人も目にすることになるので、見えない効果も期待できるのではないかと思われます。

Copyright© 2022　MAN MACHINE INTERFACE, INC.　All rights reserved.

## 1.12 環境活動

＜主な取組＞

### エコキャップ

本年度から回収箱への投かんではなくNPO法人を通じて、ペットボトルのキャップ回収を通じたエコキャップ運動｜キャップの貯金箱推進ネットワーク(capnochokinbako.jp)の活動に協力しています。

こちらの活動を選んだ理由としては以下の 3 点です。

① 焼却時の二酸化炭素の削減、地球の温暖化防止への貢献

② 売却で得られる利益を寄付し、世界中の病気に苦しむ子供たちの元へワクチンや医療物資を届けている

③ 障がい者施設で異物除去作業という仕事となり、障がい者施設の仕事量減少の抑止となる

本年度の提供キャップ重量は、1.46Kg（627 個）でした。

これにより寄付金 14 円（1Kg＝約 10 円）、CO2 約 4.6Kg（換算方法は、キャップ 1Kg をゴミとして焼却すると CO2 が 3,150g 発生するため、重量 x 3,150g で計算）の削減となりました。

今後もこの活動に協力し CO2 削減、および社会貢献に努めます。

### 八王子環境フェスティバル協賛

「八王子環境フェスティバル」は、市民一人ひとりの環境に対する意識の高揚及び自発的な活動の促進を図ることを目的に、毎年環境月間である 6 月に開催されます。

開催趣旨に賛同し、スポンサーとして参加しました。

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

## 環境市民会議への参加

地域社会への貢献の一環として、八王子環境市民会議のボランティア活動に参加しました。
今年も【八王子浅川ガサガサ探検隊】の活動が行われましたが、参加人数制限があり残念ながら参加することができませんでした。【浅川清掃】と【公園花壇の植替え】、および【小学校の校庭樹木の名札付け】に参加しました。

＜浅川清掃＞

相変わらずポイ捨てゴミは多く、特に空き缶、ペットボトルが目立ちます。毎回残念でなりません。

＜公園花壇の植替え＞

作業は 2 日に分けて行われ、1 日目の花の抜き取りと整地の作業に参加しました。
町会の方々に喜んでいただけて、今後も参加していこうと思います。

＜小学校の校庭樹木の名札付け＞

今回は 47 本の樹木に名札を取り付けました。
一人でも多くの児童が樹木に興味をもっていただければと思います。

Copyright© 2022　MAN MACHINE INTERFACE, INC.　All rights reserved.

## ＜コメント＞

Eco 検定合格者を 1 名増加できました。

## ＜今後の取組＞

### eco 検定取得

毎年 1 名以上の取得がされるよう受験を奨励していきます。

### イベント参加

エコプロダクツに限らず、社員によるイベント参加の恒例行事化を確実に遂行します。

### ボランティア活動

活動が浸透してきたようで徐々にではありますが協力者が増えてきています。
引き続き、大勢が参加できるよう、広報委員会と連携し楽しさと意義を社内に広めていきます。

Copyright© 2022　MAN MACHINE INTERFACE, INC.　All rights reserved.

## 1.13 業務改善

### ＜主な取組＞

**自動化支援**

2020年10月より、デジタル化（デジタイゼーション）による業務効率化を支援する商品であるOCR と RPA の販売を開始し、販売を通じて顧客の業務改善に貢献する取組を行っていました。

### ＜問題＞

2023 年 4 月 30 日に OEM 契約が終了となりました。
情報サイト＜イプロス＞に掲載し、多くのユーザの目に留まるよう製品アピールをする活動などを取り組んでおりましたが、契約解除となってしまい、本商品を使った業務改善の手助けができなくなりました。

### ＜今後の取組＞

**社内業務効率化**

OEM による業務改善はできなくなりましたが、本年度社内業務の効率化として、エクセルシートで行っていた交通費・経費申請を IT ツール導入によりエクセルシートの編集がなくなり、効率よく申請を行うことを可能としました。また、経理業務の改善にもつながっています。

**生産性向上に向けた改善策の策定**

今後も社内業務で効率化を図れる作業を洗い出し、ツールなどを自社制作、若しくは外販により改善できるものを調査・検討していきます。

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

# 8 環境関連法規等の遵守状況

## 1.14 対象環境関連法規等

当社に適用される環境関連法規等は以下の通り。

1. 特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）
2. 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律
3. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）
4. 八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例
5. 八王子市下水道条例
6. 国等による環境物品等の調査の推進等に関する法律(グリーン購入法)

## 1.15 遵守状況、違反・訴訟等の有無

期間中、対象環境関連法規等は遵守されており、違反状態は認められませんでした。
※一部、期間中に対象廃棄物が発生せず、「対象なし」としています。

過去含め、現在までに違反・訴訟等はありません。
関係当局からの指摘、近隣からの苦情等の発生もありません。

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.

# 9 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1.16 全体評価

例年通り、当社で直接的に実現できる環境負荷軽減策は限られているが、そこで思考停止することなく柔軟な発想で今後もあらたな取組みを考えてチャレンジしてほしい。

## 1.17 見直し

CO2 排出量（電力使用量）については、業務上各種機器の使用ケースが増えているのであれば、単純に減少させれば業務に影響することに繋がりかねないので、現状の妥当性を勘案のうえで目標量を増加させることも検討すること。

Copyright© 2022 MAN MACHINE INTERFACE, INC. All rights reserved.